



国際会長ニュース

愛と尊厳で世界を癒そう



国際会長 キム・サンチェ

2022 年 2 月号

キム国際会長のメッセージ

2 ページ

*「世界を癒そう」に注目

* 韓国地域大会に関する報告



IHQ ニュース 2 月

3 ページ

内容

* iGo プログラムの立ち上げ

* 「断食のとき」プログラムの強調

* 100 周年記念事業に関する報告
のお願い



ジュネーブの新国際本部

4 ページ

新しいオフィススペース購入の
ニュース

直前国際会長 ジェイコブ・クリス
テンセン



2 月の強調月間テーマ:

5 ページ

断食のとき(TOF)

ラオス青少年教育センターのための
韓国のプロジェクト



チャン・ビョンイク、国際 TOF 事業
主任

2 月の強調月間

6 ページ

世界を癒そう

世界を癒そう 統一国際プロジェクトの抱負を語る

HTW 委員長 キム・ドンギュー

祝賀会のはじまり

8 ページ

第 6 回韓国地域大会の報告
地域会長パク・スンチョル



超大型台風「ライ」被災者へのタイムリーな支援

7 ページ

アジア太平洋地域・フィリピン区の災害へ
の迅速な対応

アレキサンダー・ユー



「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」





キム国際会長のメッセージ

皆さま、2022年2月は、どのようなスタートを切られましたか？

ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)は、今月、上半期の評価と下半期を計画するための一連の国際会議を開催します。私たち全員が、YMIの明るい未来に向かって、力強く走り出す準備をすることを期待しています。コミュニケーションとドキュメンテーションを通じて、より良いガバナンスを実現するために、多くの時間を割いてくださった国際的なリーダーやさまざまな委員会の方々に感謝いたします。

クラブメンバーの国際的なコミュニティを構築し、リソース(知識、資金、スキル)を共有して組織の効果、知名度、影響力を高め、国境を越えた親睦を深めるために発足した「世界を癒そう(HTW)」をご存じだと思います。2年以上続いているパンデミックの状況により、国際協力プロジェクトの本格的な開始には時間がかかると予想されます。しかし、HTWは、Time of Fast や国際緊急援助のための別枠の HTW 基金によって、ターゲットを絞ったプロジェクトやプログラムを通じて、新型コロナウイルス感染後の健全な地球のために活動を続けていく予定です。



YMI Heal the World

近年の自然災害は、その規模、頻度ともに想像を絶するものがあり、YMIの各部が地元で大小さまざまな支援活動を展開しています。パンデミックとの厳しい戦いの中でも、奉仕の精神を守り、コミュニティの士気を高めるために協力してくださっている皆さまに感謝します。ただ、あなたの温かいストーリーをみんなに伝えるのを忘れないでください。

1月7日、8日に韓国地域大会に参加しました。ホストコミッティーのおかげで、熱心なクラブメンバーと様々な才能に恵まれた方々の参加で、実りある楽しい集まりとなりました。ゲストスピーカーの一人であるバン・ギムン前国連事務総長は、環境と資源の保護について講演し、より良い世界を作るためには一人ひとりの意識が重要であることを強調しました。私は、クラブ会員に対し、困難な時代への挑戦と、家族、友人、知人を積極的に YMI に招待するよう呼びかけました。セミナーでは、YMI ヒストリアンのデビー・レッドモンドが作成した資料をもとに、創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダーの人生と哲学についてお話をしました。

意識の高い若者たちが始めた運動が、100年の歴史を持つ国際奉仕団体になったように、それぞれの強みを自覚し、所属する場所でベストを尽くすことで、新たな YMI の 100 年を作り上げましょう。

Kim se 88.

2021-2022 国際会長
キム・サンチェ

IHQ からのニュース - 2022 年 2 月

2022/23 年度の次期国際会長、ICM、ICM(E)の国際選挙が、1月28日に終了し、近日中に指名委員会から結果が発表される予定です。国際本部は、民主的なプロセスへの皆さまの参加に感謝いたします。



第2四半期区会員数の報告を2月10日までに、国際会費の国際本部への送金を2月28日までにしてください。

2月25日と26日に国際執行役員、国際議員、次期国際議員、次期地域会長、国際事業主任、委員長、スタッフが参加し、2022 年年央会議をオンラインで開催します。上半期の評価と次年度の計画を立てます。



新しい iGo プログラムが正式に開始されました。クラブはこの機会について、18 歳から 29 歳の若者や地域の YMCA に情報を提供するように要請されています。(特に、コソボ、タイ、シンガポールで募集中のインターンシップについて)詳しくは、[こちらから画像をクリックしてください。](#)

2 月は「Time of Fast」の強調月間です。すべてのクラブメンバーは、社会的に最も恵まれない人々のために、1 食または 2 食を犠牲にして、少なくとも 10 スイスフランを寄付するように要請されています。TOF の資金プロジェクト申請の締め切りは 2022 年 3 月 15 日ですので、ご注意ください。(5 ページ参照)



最後に、地域、区、クラブが 100 周年記念のさまざまなプロジェクトやプログラムに取り組んでいることは、心強いことです。ぜひ、国際本部(www.ysmen.org)や 100 周年記念[フェイスブックページ](#)で、関連するストーリーを共有してください。

国際書記長ジョース・ヴァルギーズ

ご存じですか。

2 月の TOF 強調月間には、特別な TOF カレンダーで資金集めを奨励することができます。多言語のカレンダーがあり、ウェブサイトから入手できます。

[ここをクリックするか](#)、画像をクリックして、各言語のカレンダーをダウンロードしてください。

編集長 ウォリー

Y's Men International TIME OF FAST - DONATION CALENDAR February 2022						
Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
	1 If it rains donate 5 cents, if not, 30 cents.	2 Open the window and let the sun shine in.	3 For every slice of toast you ate this morning donate 4 cents.	4 For every telephone call this day, pay one cent.	5 Do you have a sealed road in front of home? Give 10 cents.	6 Be Thankful and praise the Lord.
7 For every remote control you have donate 30 cents.	8 Donate 50 cents if you ate anything else but rice today.	9 Enjoy the day.	10 Donate 50 cents if you don't know who our 156 is.	11 Give 4 cents for every electric heating and cooking appliance you own.	12 Give 10 cents if you are retired, 30 cents if still working.	13 Donate 3 cents for every pair of shoes you own.
14 Donate 5 cents for every door in your home.	15 Donate 1 cent for every Christmas card you received.	16 Donate 50 cents if you ate any frozen foods today.	17 Make a friend.	18 Give 3 cents for every Y's Men's banner you have.	19 Donate 5 cents for every washer tap at your home.	20 Were you angry in traffic today? Donate 25 cents.
21 Donate 25 cents for every pair of spectacles you own.	22 Donate 25 cents for every radio in your home.	23 Give 50 cents if you get a phone call from family or friends today.	24 Donate 40 cents for every car less than 3 years old at your home.	25 Did you use your mobile phone more than once? Donate 30 cents.	26* Donate 2 cents for every Email received today.	27 Make a phone call to a lonely person.
28 Donate 3 cents for every night away from home this year.						
*26 February: Youth Time of Fast. Dicting - the triumph of mind over platter. Please send your contributions to: _____						

ジュネーブの新国際本部

このたび、国際議会からジュネーブの新本部用地購入への賛同を受けることができ、大変うれしく思っています。現在のオフィスは、時代遅れであり、購入または新たな賃貸契約を開始する必要がありました。



70年代に米国で不動産を売却した際の資金をエンダウメントファンド(EF 基金)に入れ、株式で運用してきました。この資金が、数年の間に大きく増えたことも、不動産購入の可能性について調査を開始した理由の一つです。この調査と購入に、国際議会のメンバーが、賛同してくれたことは、とても喜ばしいことです。

何カ月にもわたる調査の結果、閑静な一等地でありながら、都心に近い場所に物件が見つかりました。268 平方メートルのスペースは、YMI が、私たちのニーズに合ったオフィスを作るためにオープンスペースの状態です。近日中に売買契約を締結し、その後改装を行い、職員が働きやすく、会議室もある「国際本部の旗艦事務所」を完成させたいと考えています。

このオフィス購入に、ぜひともクラブの皆さまの協力が得られることを期待しています。YMI の現在および将来の目的のために、経済的支援と安定性を提供することを目的としたエンダウメントファンドには、経済的支援が必要です。また、特別なプロジェクト、拡張、拡大への支援を継続することも必要です。そのため、私たちは、各区の皆さまに、エンダウメントファンドがその目標を達成できるよう、お願いしています。

デンマーク区では、区役員会が「オフィス購入委員会」を立ち上げています。この委員会は、物件と購入の財政状況について十分な報告書を作成しました。また、購入についての財政的支援を求めて、全クラブ会長に連絡を取ることを決め、さらに、デンマークの各クラブ会員が個人的に税金の控除を受けながら寄付を行う



ことができる可能性も出てきました。

今回の購入で、私の個人的な国際会長の目標のひとつが達成されることになり、大きな喜びと満足感、そして感謝の気持ちでいっぱいです。これからも応援をよろしくお願いします。

直前国際会長 ジェイコブ・クリステンセン(デンマーク)



2月の強調月間 -断食のとき(TOF)

ラオス 青少年教育センタープロジェクト

TOF プログラムは、YMI を代表するプログラムのひとつです。1972 年の発足以来、今日まで、TOF は、開発プロジェクトや災害救援のために 700 万ドル以上の資金を集めてきました。

ラオスにスアンルアン教育センターが設立され、韓国地域は、大いに沸き立っています。YMCA が、ラオスのためのプログラムを立ち上げ、韓国のワイズメンに協力を依頼したのが始まりです。韓国全北区が、ラオスプロジェクトの TOF 資金に応募し、委員会を組織して支援しました。地域会長のパク・スンチュルが、YMI100 周年記念事業の一つとして選定し、集中的に支援しました。ラオスは、世界最貧国の一つであり、新型コロナウイルスの蔓延による封鎖措置が長期化する中、経済は、さらに悪化し、公教育は、不安定で、若者たちは、将来に夢を抱くことができません。



2021 年半ばから、韓国地域、スアンルアン学校、そして地方教育庁の 3 者が、青少年教育センターの設立に向けて協議を重ねてきました。ラオス政府は、学校内に敷地を提供し、ワイズメンは、教育プログラムを共同で運営するための青少年教育センターを建設する予定です。このため、韓国地域は、クラブ会員と一般市民を対象に募金活動を行い、12 月までに個人 17 名、2 区、2クラブが募金リレーに参加しました。

この寄付運動は、複数の韓国メディアで記事として取り上げられました。その結果、一般の方からの寄付も含め、2 万米ドル以上の寄付が集まりました。また、韓国政府の海外ボランティア向け NGO パートナシッププログラムを通じて、ラオスに専任のコーディネーターを置き、ラオスの青少年プログラムを体系的に管理し、政府とともにその他のプロジェクトを計画しています。このセンターが運営を開始すれば、この地域で質の高い教育を提供し、若者の全人的な成長とキャリア選択に実践的な支援を提供できるようになるでしょう。IT、英語、韓国語のクラスが開設される予定です。授業の進捗状況や生徒の成績は、担当のコーディネーターが確認します。現地の学校、教育機関、NGO と協力し、教育のためのネットワークを形成します。各種適性教育や進路指導に必要なインフラやプログラムを計画します。さらに、IT ベースのプロジェクトを通じて、地域開発を促進し、地域のリーダーや村の企業を支援します。

チャン・ビョンイク、国際 TOF 事業主任



2月の強調月間テーマ ヒールザワールド

ヒールザワールド (HTW: 世界を癒そう) は、ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) の統一国際プロジェクト (UGP) です。これは、YMI がすでに持っているリソースを結集する包括的なプロジェクトです。私たちは、共通のニーズを特定し、メンバーのスキルや持てるものを、調整したプロジェクトに活用します。

その第一歩として、私たちは中核となる対象分野を決定しました。ヒールザワールドは、保健・医療ケア、恵まれない地域での建設・改修、緊急資金、救援活動などを提供します。また、教育、環境や最近インドやラテンアメリカで実施したような新型コロナウイルスの支援活動も含まれます。



第2段階として、HTW ネットワークを作りました。HTW ネットワークは、特定のことがらのためにオンラインプラットフォームでつながったワーキンググループです。HTW ネットワークは、私たちの運動の中で、思いやり、つながり、協力を促進するものです。6つの主要なグループが発足しています。ブランディングと広報、教育、国際ボランティア、医療サービス、救援と復興、SDGs 推進です。

YMI Heal the World

3つ目のステップでは、共通言語、キーワード、共有イメージなどの全世界的なメッセージ戦略を用いて、共通のテーマで行われるプロジェクトの実施を効果的に広報し、私たちのグローバルな活動を促進、アピールします。

ヒールザワールドを通じて、YMI にふさわしいインパクトをどのように生み出すのでしょうか？

私たちは、グローバルなボランティア活動によってインパクトを与えていきます。国際的なチームがスキルを持ち寄り、文化的な理解を深めることで、多角的な経験をすることができます。外部からの資金を増やすことで、リソースの配分を可能にします。

世界中での YMI の成果を見ることで、モチベーションと積極的な関与を高めることができます。入会候補者にとって、より魅力的な存在になることもできます。

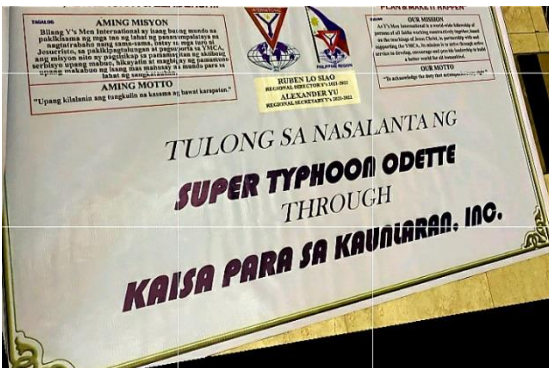
プロジェクトが増えれば知名度が上がり、会員拡大につながり、より多くの人的・資金的リソースが確保されるという好循環が生まれます。また、全ての地域の YMCA との実践的な協働の扉を開くものであるとも捉えています。

国際協会 HTW 委員長 キム・ドンギュー (韓国)

HTW の詳細 (英文) は [ここをクリック](#)

超大型台風「ライ」被災者へのタイムリーな支援

2021 年 12 月 16 日に上陸した超大型台風「ライ」(地元では「オデット」と呼ばれている)は、フィリピンのビサヤ地方とミンダナオ地方に大雨、スコール風、洪水、高潮をもたらしました。この台風は、一晩で数千世帯をホームレスにし、過去 2 年間の新型コロナウイルス大流行の影響からの回復以来得られた、素晴らしい社会的・経済的成果の一部を危険にさらすことになりました。一般的に、このような規模の台風が発生した場合、緊急避難所、食料、水、衛生設備、避難支援、家族の再会、医療、高リスク集団の保護、ケースマネジメントなどが必要とされます。



いる窮状を緩和することができました。

即応性に加え、家屋や地域インフラの再建、電気・水道・衛生設備の復旧、被災した企業や農業の支援など、長期的な復旧が必要です。数千の学校が避難所として利用され、その結果、約 1,500 万人の生徒の学習に影響が出ています。学校で実施していた他の活動も継続することができません。

ルーベン・シャオ(マニラダウンタウン・ワイズメンズクラブ)は、チャリティー活動や救援活動に熱心に取り組んでいます。災害が深刻で、各地で水や電気が不足していることを聞いた彼は、中国文化伝承センター(Kaisa Para Sa Kaunlaran)と連携し、すぐに災害救援チームを編成しました。現地の緊急ニーズを察知し、タイムリーに対応したのです。3,600 パック以上の飲料水がフィリピン沿岸警備隊財団に手渡されました。これにより、被災地で飲料水が不足して



YMI フィリピン区は、立ち上がり、その献身的な奉仕に意欲を燃やしています。両手を挙げ、ワイズ運動の目的を宣言します。私たちワイズメンは、権利を享受するための義務を果たすべく訓練を受けています。ワイズ運動は、地元のコミュニティやメディアから高く評価され、フィリピンの主要な新聞やオンラインニュースにも詳細が掲載されました。

アレキサンダー・ユー アジア太平洋地域・フィリピン区

祝賀会のはじまり

2022年1月7日～8日、テグのホテルスーンで、ワイズメンズクラブ国際協会 100 周年を記念する第 6 回韓国地域大会が開催されました。

この大会は、ワイズメンのアイデンティティを実感し、ワイズメンの 3 大プログラムである親睦、文化、奉仕の調和とバランスを達成することに焦点を当てたものです。参加者数は、新型コロナウイルスの流行により、当初予定の 1,300 人から 300 人に縮小されました。



大会会長のパク・スンチュルが開会の辞を述べ、キム・ブギョム 韓国首相のビデオメッセージ、クォン・ヤングジン・テグ広域市市長の祝辞が続きました。YMI100 周年記念式典が国際会長 キム・サンチュのリーダーシップのもとで続いて行われました。また、バン・ギムン前国連事務総長が、参加者の前で「新しい 100 年のための新しいリーダーシップ」というテーマで 1 時間の講演を行いました。この模様は、YouTube を通じて全世界に生中継されました。

第 6 回韓国地域大会の記念事業として、1,500 万ウォン(約 12,620 米ドル)を韓国 YMCA 同盟に寄付しました。また、2 日目の新年礼拝で集められた約 400 万ウォン(約 3,365 米ドル)は、ソウル区が計画している脱北者と筋ジストロフィー患者のためのチャリティーイベント開催に寄付されました。

このイベントのハイライトは、ワイズメンの 100 年を振り返り、次の 100 年を展望する 3 つのセッションで構成されたセミナーとディスカッションです。

セッション 1:「P・W・アレキサンダー会長の人生と哲学」

(講演者:国際会長 キム・サンチュ)

セッション 2:「ジョセフ・オム・ヨスプ(1981-81 の国際会長)の人生とビジョン」

(講演者:アジア・太平洋 YMCA 同盟総主事 ナム・ブウォン)

セッション 3:「新しい 100 年、ワイズメンの変化とビジョン」

(講演者:地域会長 パク・スンチュル)

地域会長 パク・スンチュル

